

笑顔で自分らしく
安心して暮らせるための
山陽小野田市
～認知症ケアパス～



認知症ケアパスって何？

認知症ケアパスとは、認知症について知りたい、相談したいときなどに「いつ、どこで、何をしたらよいか」さまざまな情報をまとめたものです。症状の進行にあわせた支援や利用できる医療・介護サービスなどを知ることができます。

自分自身やご家族、周りの大切な方とご活用ください。

発行元 山陽小野田市



もくじ

- ①新しい認知症観・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ②認知症とともに生きるご本人の声・・・・・・・・ 4
- ③認知症について知りたい・・・・・・・・・・・・・ 6
- ④不安なことを相談したい・・・・・・・・・・・・・ 8
- ⑤医療機関を探したい・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ⑥地域で暮らし続けたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ⑦交流したい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ⑧いつまでも元気でいたい・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ⑨自分の思いを伝えたい・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ⑩安心して暮らせる地域を作りたい・・・・・・・・ 18
- ⑪認知症ケアパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

気になるページをめくってみよう



①新しい認知症観

●新しい認知症観

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和6年1月1日に施行されました。

すべての認知症の人が基本的人権（人が生まれながらに持っている、誰からも奪われない権利）を持っている個人として、その人自身の意思によって自分の暮らしをおくることができるようにしなければならないと定めています。

「新しい認知症観」とは、認知症になっても、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

古い認知症観
(他人ごと、問題重視、
疎外、絶望)

- ①他人ごと、向き合わない、先延ばし
- ②わからなくなる、できなくなる
- ③恥ずかしい、周りに隠す
- ④世話になる一方、地域生活は無理
- ⑤暗い、萎縮、楽しくない、絶望的

チェンジ!

～新しい認知症観～

「わがごと、可能性重視、地域で、希望」

- ①自分ごと 向き合う 今ここで
- ②わかること できることがある
- ③自分は自分 隠さずに オープンに
- ④地域の一員として活躍できる とともに
- ⑤明るい 伸び伸び 楽しい 希望がある

新しい認知症観へチェンジ!



②認知症とともに生きるご本人の声

～認知症とともに山陽小野田市で暮らすご本人の声～



スマイルエイジング

夫と一緒に畑づくりをするのが楽しみ。できた実を家族のために料理して食べるのが好き

分け隔てなく、誰とでも話したい

デイサービスの皆さんと行くドライブが楽しみ、これからも行きたい
市内の竜王山とっても楽しかった

友達や人に会うことが好き、みんなと一緒にいてよかった

「台を拭いてください」と職員さんをお願いされると嬉しい

ちょっとした洗い物の手伝いをされた時に「いつもありがとうございます」と感謝されると嬉しい

優しく接してもらえると嬉しい

年代関係なく交流ができるまちで暮らしたい

職員さんがいつも明るい笑顔だから、私も明るくなる



②認知症とともに生きるご本人の声

認知症とともに生きる希望宣言

(一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ)

「認知症とともに生きる希望宣言」は、認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で、生まれたものです。一足先に認知症になった人たちから、すべての人たちへ。

認知症とともに生きる希望宣言

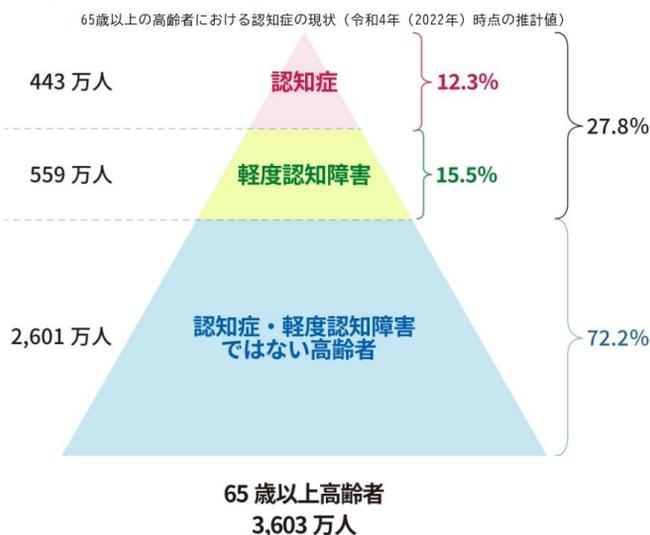
1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り
前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、
社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、
生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを
身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

③認知症について知りたい

●認知症とは

認知症とはさまざまな病気により、脳に変化が起こり思考や判断力、記憶力などが徐々に低下し、それまでできていたことができなくなり、日常生活に支障をきたす状態をいいます。

●「認知症は身近な病気です」



日本における（2022年）、65歳以上の認知症の患者数は約443万人、軽度認知障害（MCI）559万人と推計されています。

誰もが関わる可能性のある身近な病気だね



資料：厚生労働省「認知症及び軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計」から政府広報室作成

●認知症の症状

認知症には、脳に起こっている病気そのものによって直接おこる、もの忘れ、理解判断力の低下などの症状である「中核症状」と、認知症の人にあわられる症状のうち不安やいらだちなどの症状である「周辺症状（BPSD）」があります。

中核症状

- ①記憶障害
- ②失見当識
- ③理解判断力の低下
- ④実行機能障害



代表的な症状は「もの忘れ」

周辺症状

- ①不安やうつ
- ②いらいらと興奮
- ③幻覚・妄想
- ④歩き回る・迷う



環境・体調
周囲の人との
関係性が影響

③認知症について知りたい

●認知症を引き起こす主な病気

アルツハイマー型認知症

認知症の中でも最も多くを占め、初期からもの忘れがみられます。記憶障害や見当識障害などの症状が現れます。アミロイドβというたんぱく質が脳に蓄積して、神経細胞が影響を受け、発症します。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などで脳が損傷されたりすることで、認知機能が低下します。脳のどの部分がどのように障害を受けたかによって症状が異なります。

レビー小体型認知症

レビー小体という特殊なたんぱく質が脳内に蓄積することで発症します。主に、幻視や小刻みに歩くなどのパーキンソン症状がみられます。

前頭側頭型認知症

前頭葉や側頭葉の萎縮により発症します。同じ行動を繰り返す、怒りっぽくなる、言葉の意味理解が難しくなるなど、記憶障害よりも行動の変化や言語障害が主です。

認知症と似た症状が現れる疾患

(例) 正常圧水頭症
甲状腺機能低下症、うつ状態、アルコール性認知症など

若年性認知症

若くても認知症を発症することがあります。65歳未満で発症した認知症を若年性認知症といいます。ご本人や配偶者が働き盛りの世代であり、病気のために仕事に支障が出たり、仕事を辞めることになる等、経済的に困難な状況になりかねません。

軽度認知障害 (MCI)

認知症のように生活に支障をきたすほどではありませんが、記憶力等の能力は低下し、正常とも認知症ともいえない状態をMCI(軽度認知障害)と言います。

自分のもの忘れの状態を知ることができる「**あたまの健康チェック**」と認知症予防の方法を学ぶことができる「**あたまの若返り教室**」を実施しています。

問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター 電話 82-1149



④不安なことを相談したい

●早期発見と早めの相談

認知症に早期に気づき、相談を行うことで、本人や家族への不安・混乱・戸惑いの期間を短くすることにも大いに有効です。また、適切な医療や介護サービスなどへつながるなど認知症に対する効果的な対応が期待できます。

●早期発見・早期相談によるメリット

- ・認知症の理解を深め、対応方法を知ることによって症状の進行を緩やかにすることができる可能性があります。
- ・薬によって進行を遅らせることも可能です。
- ・今後の生活について一緒に考えることができます。



家族がつくった

「認知症」早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

もの忘れがひどい

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

認知症の電話相談（通話無料）

0120-294-456 (10:00~15:00 土日祝を除く)

携帯・スマホからは 050-5358-6578 (要通話料)

47都道府県の支部の連絡先など
詳細はホームページをご覧ください

家族の会



公益社団法人

認知症の人と家族の会

早期発見と早めの相談が大切だね



④不安なことを相談したい

(1) 医師への相談

- 「かかりつけ医」がいる方は、まず相談してみましょう。
- 「かかりつけ医」がない場合は、「オレンジドクター」に相談してみましょう。

(2) 地域包括支援センター

- 認知症のご本人やそのご家族を支援するための総合相談窓口です。
- 認知症に関する相談や、認知症の心配があっても医療や介護サービスの利用ができずに困っている等、専門職がさまざまな支援・相談対応を行います。

問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター

時 間 月曜～金曜（祝日、年末年始を除く）午前8時30分～午後5時15分

電 話 82 - 1149

(3) 認知症初期集中支援チーム（地域包括支援センター）

- 認知症専門医と地域包括支援センターの医療職（保健師、看護師、作業療法士）福祉職（社会福祉士、介護支援専門員）の多職種から構成される支援チームです。
- 認知症の疑いがあるが受診や介護サービスの導入が難しい方、支援方法に困っている方等への対応方法を検討し、助言や訪問等のサポートを行います。

(4) ケアマネジャー

- 利用者の希望や心身の状態にあったサービスが利用できるように、介護保険サービスの調整やケアプランの作成を行います。担当のケアマネジャーがいる場合は相談してみましょう。

(5) 若年性認知症支援相談窓口

- 若年性認知症支援相談窓口は、若年性認知症支援コーディネーターを配置し本人・家族等からの相談を受け、市町や関係機関などと連携しながら、医療福祉、就労などの総合的支援を行います。

問い合わせ先 認知症疾患医療センター

（宇部市大字東岐波4004-2 山口県立こころの医療センター）

電 話 0836 - 58 - 2212（相談は無料）

⑤医療機関を探したい

地域で暮らす高齢者やそのご家族が、もの忘れや認知症について気軽に相談できる身近な相談医を「オレンジドクター」と呼び、オレンジドクターをサポートする専門医を「PREMIUMオレンジドクター」として山口県のホームページで公表しています。

(1) オレンジドクター（宇部・小野田圏域）

| 病院名 | 住所 | 電話番号 | 診療科 |
|-------------|-------------|---------|---------------------|
| 井上医院 | 新生2-4-2 | 81-1213 | 脳神経外科 |
| いのうえ内科医院 | 須恵1-4-10 | 81-1158 | 内科 |
| 小野田赤十字病院 | 小野田3700 | 88-0221 | 眼科 |
| 河野内科 | 厚狭680-23 | 71-0009 | 内科 |
| しらさわ内科クリニック | 北竜王町10-10 | 81-2600 | 内科・消化器内科・放射線科 |
| 瀬戸整形外科クリニック | 稲荷町11-20 | 83-2292 | 整形外科 |
| 田原耳鼻咽喉科医院 | 住吉本町1-5-27 | 83-3428 | 耳鼻咽喉科 |
| たみにに内科循環器科 | 鴨庄11-3 | 72-4970 | 内科 |
| 長沢病院 | 中央1-5-26 | 83-3000 | 内科・循環器内科 |
| 中村内科胃腸科医院 | 日の出4-5-6 | 84-3131 | 内科 |
| 西村内科医院 | 西高泊586-1 | 84-6080 | 内科・消化器内科 |
| はらだクリニック | 大字津布田2506-1 | 76-3121 | 内科・外科・リハビリテーション科 |
| はりま内科胃腸科 | 目出7036-1 | 83-2425 | 内科 |
| 村重医院 | 須恵1-12-10 | 83-3706 | 脳神経内科 |
| 森田病院 | 赤崎2-10-1 | 88-0137 | 内科 |
| 吉武内科クリニック | 厚狭1040-1 | 73-0095 | 内科・消化器科・リハビリテーション科 |
| 吉中内科医院 | 住吉本町1-3-17 | 84-5177 | 内科・胃腸内科・呼吸器内科・循環器内科 |

(令和7年10月15日時点)

⑤医療機関を探したい

(2) PREMIUMオレンジドクター（宇部・小野田圏域）

| 病院名 | 住所 | 電話番号 | 診療科 |
|---------------------------------|-----------------------|--|------------------------------------|
| 宇部中央病院 | 宇部市西岐波750 | 51-9338 51-9286 | 脳神経内科 |
| 宇部リハビリテーション病院 | 宇部市西岐波229-3 | 51-3111 | 神経内科 |
| 宇部西リハビリテーション病院 | 宇部市大字沖ノ旦797 | 45-2111 | 脳神経外科 |
| きらり藤本内科・脳神経内科 | 宇部市則貞5-5-7 | 29-1128 | 脳神経内科 |
| さの脳神経内科クリニック | 宇部市妻崎開作107 | 43-6937 | 脳神経内科 |
| 扶老会病院 | 宇部市船木833 | 67-1167 | 精神科 |
| 山口県立こころの医療センター （認知症疾患医療センター） | 宇部市東岐波4004-2 | 58-2370 | 精神科 |
| 山口大学医学部附属病院 | 宇部市南小串1-1-1 | 22-2707 22-2111 22-2295 22-2255 | 脳神経内科 脳神経内科 脳神経外科 精神科・神経科 |
| よしかわ脳神経外科クリニック | 宇部市東小串2-1-6 | 38-6010 | 脳神経外科・神経内科 |
| 山口労災病院 | 山陽小野田市大字小野田 1315-4 | 83-2881 | 総合内科、脳神経内科 |
| 札幌クリニック | 美祢市大嶺町東分 3460-2 | 0837- 52-2847 | 脳神経外科 |
| 田代台病院 | 美祢市美東町真名2941 | 08396- 5-0301 | 精神科 |
| 美祢市立病院 | 美祢市大嶺町東分 1313-1 | 0837- 52-1700 | 外科 |

（令和7年6月16日時点）

オレンジドクターへ相談してみよう



⑥地域で暮らし続けたい

(1) 見守りネットさんようおのだ

見守りネットさんようおのだは、認知症の方を地域で見守る仕組みです。行方不明になる可能性のある認知症の方の情報を事前に市（高齢福祉課）に登録し、警察と情報共有することで、万が一に備えることができます。

イメージ図



①事前登録



高齢福祉課



③行方不明者
情報提供

④搜索
協力依頼



②搜索
依頼



家族等

警察署

* 1 登録者へ
メール
市公式LINE
にて、行方不明
者情報を配信



* 1 行方不明者情報のメールを受け取りたい方の登録もできます。

⑥地域で暮らし続けたい

(2) 見守りQRシール

- 認知症等により行方不明となるおそれのある高齢者の安全を確保し、家族の心身の負担の軽減を図るため高齢者を発見した方が高齢者の持ち物等に貼付されたシールに印刷されたQRコードをスマートフォン等で読み取ることにより、発見場所の情報を家族に知らせることができます。



「見守りネットさんようおのだ・見守りQRシール」は高齢福祉課 地域包括支援センターまでご相談ください。電話 82-1149

(3) ヘルプカード

- 緊急連絡先や支援内容などを記載できるカードで障がいのある方等が困った時に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするカードです。
- ヘルプカードは市障害福祉課等で配布しています。市のホームページからダウンロードできます。



問い合わせ先 山陽小野田市 障害福祉課 電話 82-1159

生活へのサービスや支援がほしい

- 介護保険の活用により、ケアマネジャーやサービス提供事業所がチームで生活を支えます。
- 通って利用したい／短期間の入所をしたい／通いも泊まりも利用したい 入所施設を探したい／ヘルパー等に訪問してほしい 福祉用具を利用したい等。

詳しくは介護保険のパンフレットを
ご覧いただくか、地域包括支援センター
までご相談ください。



⑦交流したい

(1) 認知症カフェ

認知症の人やその家族、認知症に関心がある人等、
どなたでも気軽に立ち寄りくつろげる場所です。



認知症カフェってどんな場所？

Q. 誰が参加できるの？

A. 認知症の人やその家族だけでなく、どなたでも参加できます。

Q. どんなことをするの？

A. お茶を飲みながら会話したり
専門職による講座や相談会
もあります。

市内の認知症カフェ一覧（令和7年12月現在）



| 校区 | 名称 | 場所 | 日時 |
|-----|------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 赤崎 | いきいき おしゃべりタイム | 刈屋自治会館 | 奇数月 第1水曜日 10:00~11:00 |
| 須恵 | ご近所 おしゃべりカフェ | 須恵地域交流 センター | 奇数月 第1火曜日 10:00~11:00 |
| 小野田 | 虹色カフェ | 金光教 小野田市教会 | 偶数月 第1金曜日 10:00~11:00 |
| 高泊 | とまり ホッとカフェ | デイサービス とまりの郷 | 偶数月 第4日曜日 10:00~11:00 |
| 厚陽 | 集いの場 鶴と要の家 | デイサービス要 | 毎月 第3水曜日 10:00~12:00 |
| 厚狭 | ゆったり まったりカフェ | カフェひまり (ケアタウン フクシア紫苑内) | 不定期開催 土曜日 14:00~16:00 |

問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター 電話 82-1149

⑦交流したい

(2) 地域の活動や参加できる場所

| 名称 | 内容 | 問い合わせ先 |
|----------------------|---|---|
| 住民運営 通いの場 | <ul style="list-style-type: none"> ・100歳体操やいきいきスマイルアップ体操の実施。 ・脳いきいきクラブの実施。等 | 「介護予防ガイドブック」をご覧ください。 |
| ふれあい・ いきいきサ ロン | <ul style="list-style-type: none"> ・居場所・交流の場です。集まって「楽しく、気軽に、自由に、無理なく」過ごせる場づくり。 |  |
| 地域の自主 活動グルー プ等 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の支え合いグループ、地域交流センター等で体操や趣味活動を楽しむ施設。 | 高齢福祉課地域 包括支援セン ター 電話 82-1149 |

(3) 介護者の集い・交流会

- 介護の悩みを誰かに相談したい、話を聞いてもらいたい等の思いを抱える家族等を対象として、介護者の集いや交流会を開催しています。
- 医療・介護の専門職による講義や、お互いの経験や悩み等を語り合うことで心の負担を少しでも軽くするお手伝いをしています。

| 名称 | 日時、場所 | 問い合わせ先 |
|---------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 認知症の人の家族のための介護教室 | 年1回 不定期 | 高齢福祉課地域包括支援センター 電話 82-1149 |
| 介護者の集い 「ひだまりサロン」 | 第3月曜日 13:30～ Aスクエア内 | 市社会福祉協議会 電話 83-2344 |
| 家族介護者交流会 | 年2回 2月、10月 ＊開催場所は都度変更 | |

⑧いつまでも元気でいたい

(1) 補聴器購入費助成事業

- 認知症予防の取組として、中等度難聴者を対象に、補聴器購入費用を助成します（上限30,000円）。助成については、事前の申請が必要です。お問い合わせください。

問い合わせ先 高齢福祉課 電話 82-1171

(2) コグニサイズ体験講座

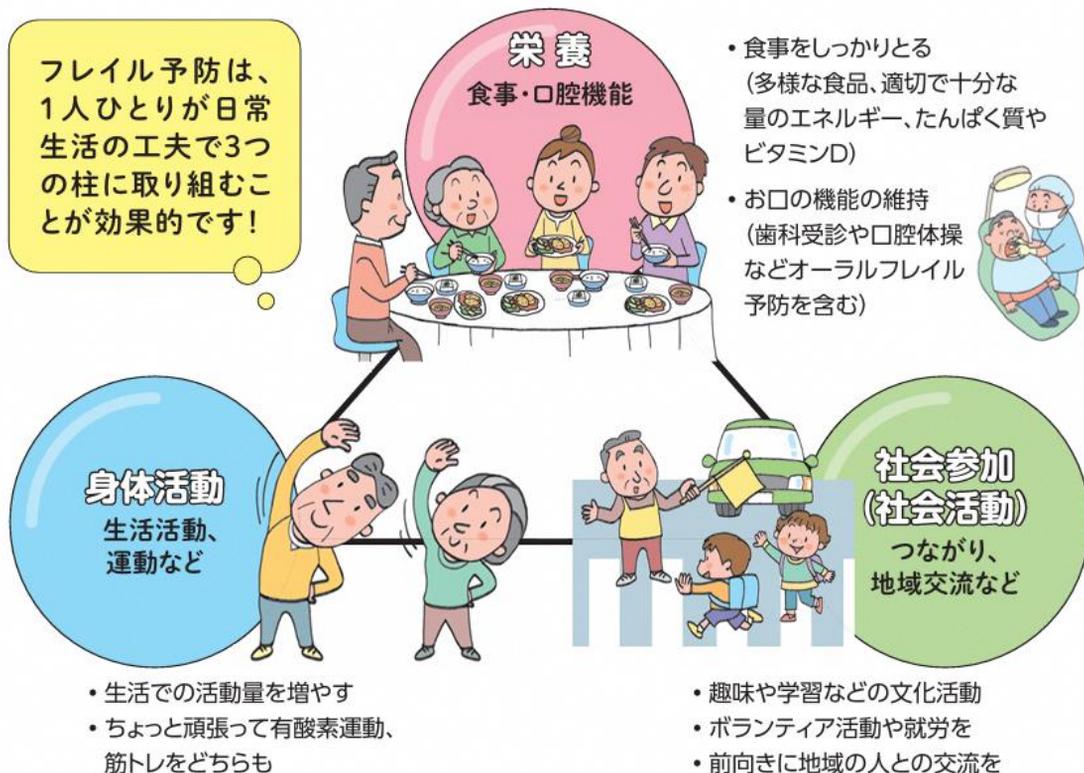
- 認知（Cognition）と運動（Exercise）を合わせてコグニサイズ（Cognicise）といます。認知機能の低下を予防するためには、複数のことを同時に行うことが効果的です。認知症予防のための頭を使いながら体を動かす運動のコグニサイズを体験できる講座です。

問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター 電話 82-1149

(3) フレイル予防に取り組みよう

- フレイルとは加齢にともない体や心のはたらき、社会的つながりが弱くなった状態をいいます。フレイル予防の3本柱「身体活動」「栄養」「社会参加」を生活の中で工夫し、取り組むことが効果的です。フレイル予防の出前講座も行っています。

問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター 電話 82-1149



フレイル予防推進会議「フレイル予防住民啓発パンフレット」から転載

⑨自分の思いを伝えたい

(1) 日常生活自立支援事業

- 日常生活上の判断が十分にできず不安がある方に対し、福祉サービスの情報提供や手続きの代行、日常の金銭管理、通帳等の重要書類の預かり等を支援します。

問い合わせ先 山陽小野田市社会福祉協議会 地域生活支援センター
電話 38-8348

(2) 成年後見制度

- 成年後見制度は、認知症等の理由から、判断能力が十分でない方の権利を守るため、成年後見人等が本人の意思を尊重し、意向を確認したうえで本人に代わって財産管理や福祉サービスの契約などを支援する制度です。意思決定を支援する大変重要な制度です。成年後見センターにて相談対応や出前講座などを行っています。

問い合わせ先 高齢福祉課 成年後見センター（地域包括支援センター）
電話 82-1149

(3) もしもの時 わたしの思いを伝えるカード

- 山陽小野田市版のエンディングカードを作成しました。もしもの時に、どのような医療やケアを望んでいるか、大切にしたいこと等について自ら考え、思いを記すことのできるカードです。

配布先・問い合わせ先 高齢福祉課 地域包括支援センター 電話 82-1149

表面

考えよう・伝えよう「もしもの」こと

寝たきりになったら

自分の思いを伝えられなくなったら

治らない病気になるたら

そのもしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて、元気なうちから大切な人や関係者とくり返し話し合い、誰もが最期まで自分らしく過ごすために大切なことを考え、伝えてみませんか

家族など、大切な方と
人生会議をしてみましょう

▼切り取り線

もしもの時
わたしの思いを伝えるカード

記入日:()年()月()日

名前: _____

連絡先

緊急連絡先

名前: _____ 性別()

ケアマネジャー

担当者: _____

人生の最期を迎える時、どこで過ごしたいですか

自宅 介護施設 病院

わからない その他()

人生の最期をどこで過ごしたいか思いを書いてみましょう

身近な支援者
(ケアマネジャー、医療関係者、介護士など)にも相談してみましょう
このカードに書いたことがケアに反映されるよう、家族や支援者と共有しましょう

▼切り取り線

裏面

①カードを記入しましょう。
②点線に沿って切り取りましょう。
③お薬手帳の一番後ろのページに貼りましょう。
④思いが変わった時には何度でも書き直しましょう！
配布場所: 高齢福祉課、保健センター、市内薬局

延命治療とは
口から食べられなくなったときに点滴などで栄養を補給したり、人工呼吸器などを装着して心臓や呼吸の動きを維持すること

★「人生会議」
ACP(アドバンスケアプランニング) 自らが受けたいと望む医療や介護について家族や支援者などと話し合い共有すること

▼切り取り線

人生の最終段階の医療で希望はありますか

できるだけ、延命治療を希望したい
延命より、痛み・苦痛を取り除く医療を希望したい
回復の見込みがなければ延命治療を希望しない

自分の思いを伝えられなくなった場合に、代わりに医療の選択をしてほしい人は誰ですか

名前: _____

性別()

その方に、上に書いた希望を伝えてありますか

はい いいえ

このカード以外に人生の最終段階の希望について記入しているものがありますか

ある ない

その他の希望、思いなど

医療や介護のご相談は…
地域包括支援センター
(市役所高齢福祉課内)
☎82-1149

お気軽にお問い合わせください

作成: 山陽小野田市在宅医療・介護連携推進協議会
事務局: 山陽小野田市役所高齢福祉課
2024.12 作成

⑩安心して暮らせる地域を作りたい

(1) 認知症サポーター養成講座

- 「認知症サポーター」は認知症について正しく理解し、認知症の人や家族をあたたかい目で見守る応援者です。どなたでも認知症サポーター養成講座を受講する事ができます。あなたも受講してみませんか？

受講後にサポーターカードを配布します



♪♪ 様々な世代が認知症について学んでいます ♪♪

(2) 認知症に優しい事業所

- 「認知症サポーター」がいる事業所や店舗等（スーパー、郵便局、薬局等の認知症の人の生活に関わりの多い身近な関係機関）を「認知症に優しい事業所」として登録しています。登録事業所は、ステッカーを掲示しています。

市内の認知症サポーター
「11,437人」
認知症に優しい事業所
「69箇所」だよ
(令和7年3月末現在)



⑩安心して暮らせる地域を作りたい

(3) チームオレンジ

- チームオレンジは、近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族の生活面の困りごとを早期から支援する取り組みです。
- 認知症の人もメンバーとして参加し、地域を支える一員として活躍することで社会参加を後押しします。認知症サポーターの活躍の場として期待されています。

(4) 見守り声かけ訓練

- 認知症の人等が道に迷って困っている場面に遭遇した時に、認知症の人の気持ちに配慮した優しい声かけや見守る際のポイント等について実践を通して学びます。
- 地域で認知症の人が行方不明になった時に、早期に対応できる仕組み作りとして、認知症の人に扮した方を、参加者全員で「探す」「見守り」「声をかける」「連絡する」等を模擬訓練する取り組みです。



誰もが安心して暮らせる地域を作ろう



認知症サポーター養成講座、認知症に優しい事業所、チームオレンジ、見守り声かけ訓練は、高齡福祉課地域包括支援センターまでご相談ください。
電話 82-1149

⑪認知症ケアパス

| 認知症の程度 | 備え | MCI 軽度認知障害 | 軽度 認知症 |
|---------------------------|--|--------------------------------------|---|
| 生活の状態 | 大変しっかりしており、もの忘れ等はありません。 | 年齢に比べて強いもの忘れ等はあるものの、日常生活の能力は保たれています。 | 家庭内での生活に支障はないものの、買い物や調理、交通機関の利用等に支障が生じます。 |
| ③認知症について知りたい 6ページ | あたまの健康チェック・あたまの若返り教室 | | |
| ④不安なことを相談したい 8ページ | かかりつけ医療機関・地域包括支援センター 認知症初期集中支援チーム・ケアマネジャー 若年性認知症支援相談窓口 | | |
| ⑤医療機関を探したい 10ページ | かかりつけ医療機関 オレンジドクター・PREMIUMオレンジドクター | | |
| ⑥地域で暮らし続けたい 12ページ | 見守りネットさんようおのだ 見守りQRシール・ヘルプマーク 総合事業・介護保険サービス | | |
| ⑦交流したい 14ページ | 住民運営通いの場・ふれあいいいききサロン 等 オレンジカフェ 介護者の集い・交流会 | | |
| ⑧いつまでも元気でいたい 16ページ | 補聴器購入費助成事業 コグニサイズ体験講座・フレイル予防 | | |
| ⑨自分の思いを伝えたい 17ページ | 日常生活自立支援事業 任意後見制度 法定後見制度 もしものときのわたしの思いを伝えるカード | | |
| ⑩安心して暮らせる地域を作りたい 18ページ | 認知症サポーター養成講座・認知症に優しい事業所 チームオレンジ 見守り声かけ訓練 | | |

⑪認知症ケアパス

| 認知症の程度 | 中等度 認知症 | 重度 認知症 |
|---------------------------|------------------------------------|--|
| 生活の状態 | 排泄や入浴、服の着替え等に誰かの手助けや見守りが必要になってきます。 | 身の回りの多くのことに介護が必要なり、言葉でのコミュニケーションも難しいことが多くなります。 |
| ③認知症について知りたい 6ページ | | |
| ④不安なことを相談したい 8ページ | かかりつけ医療機関・地域包括支援センター | |
| | 認知症初期集中支援チーム・ケアマネジャー | |
| | 若年性認知症支援相談窓口 | |
| ⑤医療機関を探したい 10ページ | かかりつけ医療機関 | |
| | オレンジドクター・PREMIUMオレンジドクター | |
| ⑥地域で暮らし続けたい 12ページ | 見守りネットさんようおのだ | |
| | 見守りQRシール・ヘルプマーク | |
| | 総合事業・介護保険サービス | |
| ⑦交流したい 14ページ | 住民運営通いの場・ふれあいいいききサロン 等 | |
| | オレンジカフェ | |
| | 介護者の集い・交流会 | |
| ⑧いつまでも元気でいたい 16ページ | | |
| ⑨自分の思いを伝えたい 17ページ | 日常生活自立支援事業 | |
| | 法定後見制度 | |
| | もしものときのわたしの思いを伝えるカード | |
| ⑩安心して暮らせる地域を作りたい 18ページ | 認知症サポーター養成講座・認知症に優しい事業所 | |
| | チームオレンジ | |
| | 見守り声かけ訓練 | |

●もっと認知症のことを知るための資料のご紹介



この資料は、厚生労働省のホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index.html

QRコード



*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



認知症ケアパス内の情報は、本市のホームページ内

「認知症に関する情報ひろば」にて掲載しております。

URL <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/18/dementia2025.html>

QRコード



*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



●問い合わせ先

山陽小野田市認知症ケアパス 2025年12月発行

発行 山陽小野田市高齢福祉課 地域包括支援センター
住所 〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号
電話番号 0836-82-1149